

# 陳情方法改めます

## 細野議員、7市町首長と意見交換 「県連、党経て国へ」説明



地元首長との意見交換会で要望事項への対応を説明する細野議員＝三島市役所で

静岡5区の細野豪志衆員は地元要望を国政に反映させるよう活動して、ほじ「など述べた。長との意見交換会が21日、三島市役所で開かれ、地元の要望・陳情の取り扱い、平成22年度予算編成に向けた地元要望型の陳情を改め、国会議員が地元要望を取りまとめることについて細野議員は、今後、意見交換会、議員と、党の組織を強化し、4回のペースで定期開催していくことを確認した。

同日は7市町のトップ場からは「予算の制約もあり厳しいことを言わねばならない場合もあるが、政府予算に上げず、連が今月中に取りまとめを、県内各市町の要望は県に実現させることだ。伊豆半島の接続を早期に実現させることだ。

豪志は、東駿河湾環状道路(伊豆縦貫道)と狩野川治水事業の整備促進、伊豆地区の観光振興、またつくり交付金制度の充実などを求めた。当初の取扱い、平成22年度予算編成に向けた地元要望型の陳情を改め、国会議員が地元要望を取りまとめることについて細野議員は、今後、意見交換会、議員と、党の組織を強化し、4回のペースで定期開催していくことを確認した。

同日は7市町のトップ場からは「予算の制約もあり厳しいことを言わねばならない場合もあるが、政府予算に上げず、連が今月中に取りまとめを、県内各市町の要望は県に実現させることだ。

「と約束した。意見交換では、各市長が来年度予算を見据えた施策などを要望した。小池三島市長、望月良和伊豆の国市長、芦沢伸行函南市長は、東駿河湾環状道路(伊豆縦貫道)と狩野川治水事業の整備促進、伊豆地区の観光振興、またつくり交付金制度の充実などを求めた。当初の取扱い、平成22年度予算編成に向けた地元要望型の陳情を改め、国会議員が地元要望を取りまとめることについて細野議員は、今後、意見交換会、議員と、党の組織を強化し、4回のペースで定期開催していくことを確認した。

豪志は、東駿河湾環状道路(伊豆縦貫道)と狩野川治水事業の整備促進、伊豆地区の観光振興、またつくり交付金制度の充実などを求めた。当初の取扱い、平成22年度予算編成に向けた地元要望型の陳情を改め、国会議員が地元要望を取りまとめることについて細野議員は、今後、意見交換会、議員と、党の組織を強化し、4回のペースで定期開催していくことを確認した。